

# 臨床心理学専攻 (修士課程)

# 大学院

GRADUATE SCHOOL



臨床心理学に関わる深い学識を習得し、  
広い視野に立つてこころの援助を行う  
専門家を育成します。

さまざまなこころの病いに苦しむ人々に、こころの援助を行う専門家の育成を目指します。

演習と実習を重視した心理学科目群を通して、臨床心理学に関わる深い学識を習得。

広い視野に立つて人々のこころのケアにあたる専門能力を身につけます。

本専攻は財団法人日本臨床心理士資格認定協会より第1種の指定を受けており、

修了と同時に臨床心理士の受験資格を取得することができます。

免許  
就職・進学

取得可能な資格・免許

- ◎臨床心理士受験資格
- ◎中学校教諭専修免許(社会)
- ◎高等学校教諭専修免許(社会)

臨床心理士資格試験  
(実績1期～8期)

81名合格

主な就職・進学先

佐賀県中央児童相談所、福岡県中央児童相談所宗像支所、熊本市教育センター、福岡県自閉症発達障害者支援センターあおぞら、武雄市教育部学校教育課、福岡市役所、福岡市精神保健福祉センター、春日市子育て支援センター家庭児童相談員、唐津市青少年支援センター、双葉学園児童家庭支援センター、熊本大学医学部附属こころの診療科、児童養護施設社会福祉法人佐賀清光園、戸畑共立病院など 精神科病院勤務多数

## TOPICS

### 継続的な震災支援を実施。—震災ボランティア—

臨床心理学専攻では、教員と院生が中心となって、2011年の夏から2012年春、夏と3回にわたり、継続的な震災支援を行っています。震災支援の特徴は、臨床心理学の専門家が主体となり、臨床心理学的手法を用いて行うことです。具体的には、集団遊戯療法「あそぶ寺子屋」と、本学が中心になって展開している主動型リラクゼーション療法が震災支援の手法です。実際現地に行く院生は毎回5名から7名程度。支援期間中に必要な準備は、事前に院生全員が力を合わせて、知恵を絞り、被災地の子どもに心をはせながら準備に取り組みます。集団療法の内容の発案、進め方の工夫、手作りで用意する道具や景品など、現地に行かなくても子どもたちの心を想像し、つながるという作業は臨床心理実習としても大事な気づき、学びを与えてくれます。



## Curriculum

授 業 科 目	基礎科目	キリスト教と人間 社会心理学特論 発達心理学特論……………1	
	基幹科目	臨床心理学特論 I-II 臨床心理面接特論 I-II 臨床心理査定演習 I-II……………2	臨床心理基礎実習 臨床心理実習……………3
	展開科目	人間関係特論 家族関係特論 心理学研究法特論 心理統計法特論 人格心理学特論 集団力学特論 精神医学特論	障害児者心理学特論……………4 投影法特論 臨床薬理学特論 コミュニティアプローチ特論 教育心理学特論 学校臨床心理学特論
	関連科目	異文化交流特論 教育人類学特論 高齢者心理療法特論 生徒指導・進路指導(含実習)	教育評価・心理検査(含実習) 倫理学特論 宗教哲学特論 西洋思想特論
	特別研究科目	特別研究 I-II	

基礎科目は全て必修で6単位を履修します。基幹科目は全て必修で16単位を履修します。展開科目及び関連科目から6単位以上を選択履修します。特別研究科目は全て必修で2年次に4単位を履修します。修了要件単位は32単位。

## Close-up

### 1 発達心理学特論

各段階における精神的発達の様子を中心としながら、生涯発達の観点から発達心理学的に考察します。幼児期の親子の接触との関係、児童期の友達との交友関係の発達、青年期のアイデンティティ確立の様子、精神発達に及ぼす甘えのメリットとデメリットなどを資料をもとに論じます。

### 2 臨床心理査定演習I-II

臨床心理実践現場で必要不可欠な「心理査定」の理論および手法について体系的に学びます。実習を重視するとともに、高度の技術習得に不可欠なスーパービジョンを強化し、外部専門家スーパービジョン制度を導入。現場に出て即戦力になるよう指導しています。

### 3 臨床心理実習

学内附属の臨床心理センターにおいて、実習に関する具体的な指導(身だしなみ、電話や応接の仕方、料金の受け取り方、倫理問題、全体の流れなど)の後、担当教員の個人スーパービジョンを受けながらインターン面接、ケース担当を実践し、そのケースの評価、援助目標、援助方法、見直しなどについてまとめ、カンファレンスで発表して総合的に学習します。

### 4 障害児者心理学特論

障害児について視覚障害、聴覚障害、言語障害、知的障害、肢体不自由(運動障害)、内部障害、精神障害の7つのタイプをあげ、その心理的特徴について講義。その他、現在、学校教育や職場において注目されている自閉症、学習障害、注意欠陥性障害(ADHD)についても論じます。

## NEWS

学内に「臨床心理センター」設置。

臨床心理士養成の実習機関、及び有料相談機関として稼働。

こころの専門家に対する社会のニーズに応え、地域社会に貢献するとともに、臨床心理士という高度専門職業人を養成するという使命のもと、2002年4月学内に「臨床心理センター」を開設しました。当センターは、乳幼児から高齢者まで幅広い年齢層を対象に、心理的不適応の改善や発達援助、家族関係・人間関係不全の解消など、個別心理相談はもちろんのこと、子育て支援事業の一環として母親への集団療法、障がい児者を対象にした月例訓練会、主に軽度発達障がいのある学校生活援助を中心に地域の小学校と連携して展開する特別支援教育事業など、地域住民が生きる日常に密着したニーズに対応する臨床心理的援助活動を積極的に実践しています。このような実践を含め、臨床心理士養成のための実習システムや設備等総合的視点からその質が高く評価され、2006年日本臨床心理士資格認定協会から第1種指定大学院としてAランクの評価を受けました。



身につけた知識とサポート力をいかし、  
終末期ケアに関する仕事に携わりたい。

目標とする臨床心理士になるためには、実習を通じた実践力が重要であると考え、大学院に進学しました。女学院は、臨床心理士資格認定協会第1種の指定校なので、卒業の進路選択にも幅が広がると感じました。現在「終末期ケア(ガンや認知症)」を研究テーマとし、主に高齢者とその家族を対象とした研究を進めています。また老人施設で、回想法を用いたボランティアを行いながら、認知症の特徴と難しさを肌で感じています。卒業後は、臨床心理士の資格を取得し、在学中に修得した知識とサポート力をいかし、終末期ケアに関わる仕事につきたいと思っています。

在学生  
Message

臨床心理学専攻1年

有川 まどか さん (福岡県立鞍手高等学校)